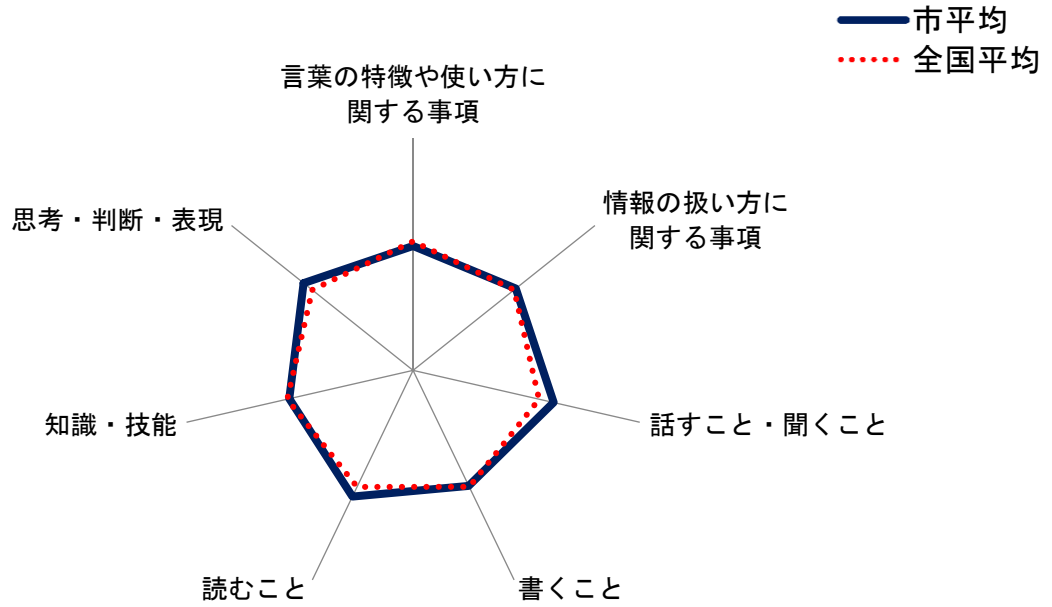
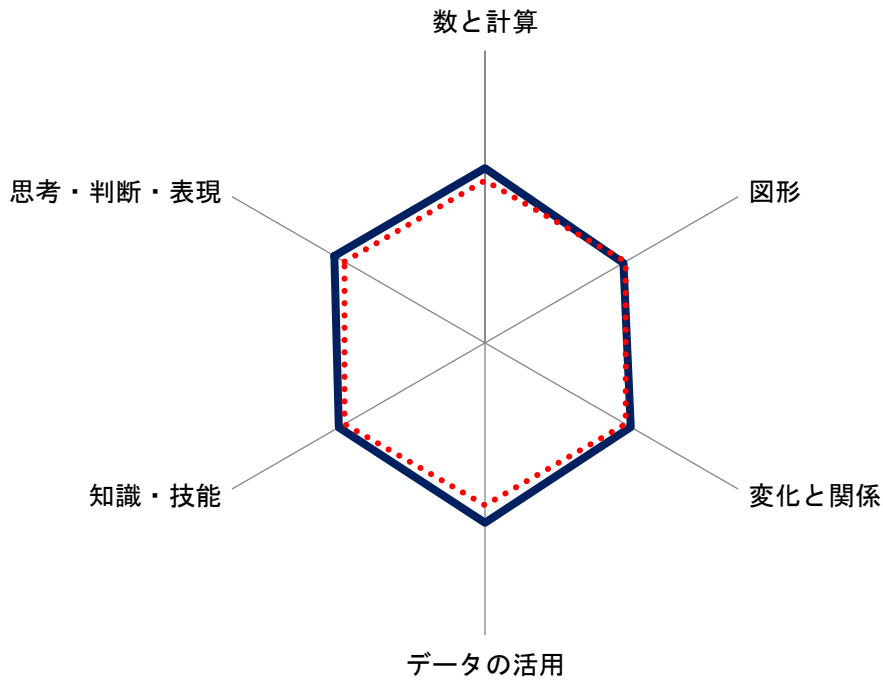


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

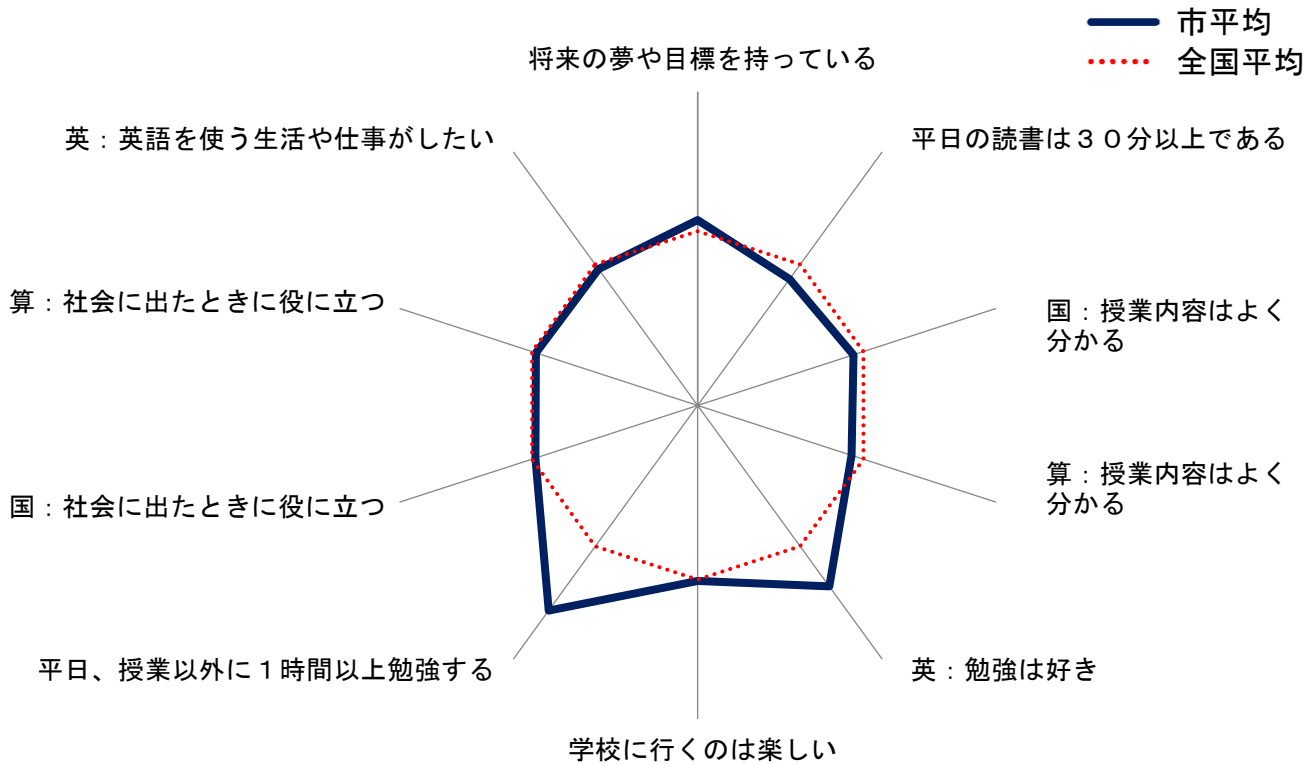
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか上回っている。また、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「データの活用」などの項目が良好な結果である。引き続き、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問紙調査では、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目が前回調査に引き続き全国平均を大きく上回っており、主体的に学習に取り組む態度を育成する教育活動が推進されている成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目が前回調査に引き続き課題となっており、国語、算数の「授業内容はよく分かる」の項目も全国平均を下回っている。今後は、読書活動のより一層の充実に向けた取組を重ねるとともに、市独自の授業モデルを生かした授業実践を推進することで「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図っていくことが望まれる。